

UTokyoNY Event by ICRR

マルチメッセンジャーで宇宙をさぐる

プログラム

日時: 2022年2月12(土) (ニューヨーク現地時間:GMT-5)

Zoom会議 + YouTube中継

9:30- 9:35 [5]		開会の言葉	佐川 宏行 教授	宇宙線研究所
9:35- 9:50[15]		ニューヨークオフィスより その歴史と挨拶	増山 正晴 理事長	東京大学ニューヨーク オフィス(UTokyoNY)
9:50-10:00[10]		来賓からの挨拶	David N. Spergel 代表	サイモンズ財団
10:00-10:40[40]	Keynote 1	マルチメッセンジャー天文学 と宇宙線研究所	梶田 隆章 所長	宇宙線研究所
10:40-11:10[30]	高エネルギー ガンマ線	スペイン・ラパルマにおける ガンマ線の観測 チェレンコフテレスコープアレイ(CTA)	手嶋 政廣 教授	宇宙線研究所
11:10-11:40[30]		高エネルギーガンマ線と マルチメッセンジャー天文学	Reshmi Mukherjee 教授	コロンビア大学 バーナード・カレッジ
11:40-13:30[110]		昼食休憩 /ポスターセッション		
13:30-14:00[30]	最高エネルギー 宇宙線	米国ユタ州における 最高エネルギー宇宙線の観測 テレスコープアレイ(TA)	佐川 宏行 教授	宇宙線研究所
14:00-14:30[30]		最高エネルギー宇宙線と高エネ ルギーニュートリノの発生源	Glennys Farrar 教授	ニューヨーク大学
14:30-15:00[30]	超高エネルギー 銀河宇宙線	チベット高原における 宇宙線の観測	瀧田 正人 教授	宇宙線研究所
15:00-15:15[15]		コーヒーブレイク / ポスターセッション		
15:15-15:55[40]	Keynote 2	重力波望遠鏡LIGOと重力波 実験についての歴史	Peter K. Fritschel 主任研究員	MIT カブリ 宇宙物理研究機構
15:55-16:25[30]	重力波	マルチメッセンジャーによる 重力波天文学の現状と将来展望	Peter Shawhan 教授	メリーランド大学
16:25-16:55[30]		大型低温重力波望遠鏡 KAGRAの現状と今後の見通し	田越 秀行 教授	宇宙線研究所
16:50-17:00[10]		閉会の言葉	梶田 隆章 所長	宇宙線研究所